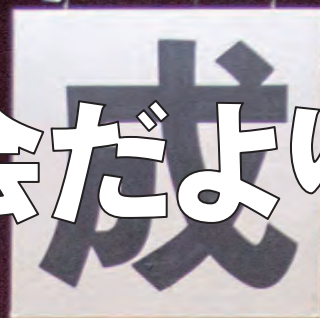


2022 vol.65 12月定例会



つわの議会だより



ご成人おめでとうございます！

1/3 津和野町成人式（日原小学校体育館）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、昨年は中止となった成人式ですが、今年は午前中に令和2年度の対象者、午後に令和3年度対象者において開催されました。

※写真は令和2年度対象者の集合写真です。令和3年度対象者集合写真は広報つわの2月号をご覧ください。



新年のあいさつ

津和野町議会

議長 沖田 守

町民の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

すがすがしい新年を、お迎へのことと、お慶び申し上げます。平素は、津和野町議会に対し、温かいご理解と、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、一昨年より、全世界に感染拡大した、新型コロナウイルスの影響で、我が国も経済活動は停滞し、多くの国民が、苦しい生活を強いられました。

ようやく、昨年暮れから、終息に向かいつつあり、一抹の明るい兆しが見え始めました。しかしながら、地方の現状は、少子高齢化・人口減少に一向に歯止めがかからず、集落維持さえままならない状況であります。

私たちは、集落内での話し合いを深め、少子高齢化社会を相互に助け合って、町の支援も求め、今年も頑張って乗り切りたいものです。新しい年が、町民にとって夢と、希望の持てる、明るい一年であることを切に願ひ、議会も一丸となって頑張ってまいりますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

町民皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

令和4年 正月

令和3年度 津和野町一般会計補正予算(第6号)

＜12月10日から16日招集開催の12月定例会＞

歳入歳出それぞれ11億2531万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ106億2795万円とする。

「主たる歳出」

＜千円以下切り捨て＞

【総務費】	津和野高校町営寮建設費	1億3970万円
【民生費】	旧木部さとやま保育園解体費	3340万円
【商工費】	津和野駅前周辺整備工事費(回廊工事費)	8628万円
【災害復旧費】	14ヵ所の災害復旧工事費	2億2394万円

令和3年第10回臨時会

(令和3年11月29日)

条例改正

◎津和野町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づく期末手当の改定

契約の締結

●令和2年度原木・チップヤード建設工事請負変更契約

随意契約 (株)日成建設

契約の工期

変更後 令和4年1月31日

変更理由

新たに排水対策工事が必要となった

令和3年第11回定例会

(令和3年12月16日)

条例制定・改正・廃止

◎津和野町総合振興計画等審議会条例の制定

新過疎法の施行に伴い、新たに目標設定や計画達成状況の評価等が必要となり、事務の効率化等を含め総合振興計画で一括審議するために制定するもの

◎津和野町地域審議会設置条例の廃止

新町建設計画の変更や進捗管理を総合振興計画等審議会に審議するため廃止するもの

◎津和野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

デジタル化の推進に伴い、保育所等における書面の作成、保存等について電磁的方法による対応が可能となったため改正するもの

◎津和野町国民健康保険条例の一部改正

法改正により、産科医療補償制度の見直しや新型インフルエンザ等対策特別措置法等について改正するもの

◎津和野町国民健康保険条例の一部改正

法改正により、未就学児の被保険者均等割額の減額をするために改正するもの

◎津和野町介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により、保険料の減免措置に対応するために改正するもの

◎津和野町医療技術者等修学資金貸与条例の一部改正

貸与の対象になる職種を限定していることから、将来的な人材確保を考慮し多職種に対応するため改正するもの

◎日原特定公園条例の一部改正

公園施設内にクライミングウォールを設置したことに伴い、基本使用料を追加するため改正するもの

◎津和野町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定

指定管理者指定

●指定管理者の指定の変更について(訪問看護ステーション)

診療所の移転に伴い、指定期間を変更するもの

●指定管理者の指定の変更について(津和野町医療従事者住宅)

医療従事者住宅施設の追加等に伴い、指定期間を変更するもの

●指定管理者の指定の変更について(日原診療所)

診療所の移転に伴い、指定期間を変更するもの

契約の締結

●令和3年度見晴らし広場解体工事請負変更契約の締結

随意契約 (株)栗栖組

契約の変更工期

令和4年3月18日

変更理由

ポンプ室地下タンクの処理方法の協議に不測の日数を要した

●令和2年度原木・チップヤード建設工事請負変更契約の締結

随意契約 (株)日成建設

請負金額

変更前

2億6070万円

変更後

2億8948万3700円
変更理由

破砕機架台工、コンクリート舗装、排水対策工事が追加となった

●第2次津和野町総合振興計画(基本構想)の変更について

基本構想及び基本計画の見直しを行い、「第2次津和野町総合振興計画 基本構想・後期基本計画」を策定するもの

●津和野町過疎地域持続的発展計画の策定について

特別措置法の制定により、本町全域が過疎地域に指定され、持続的発展に向けた指針として策定するもの



Q 自然環境と再生可能エネルギー発電事業の調和に関する条例制定を

A 条例制定に向けて検討したい



寺戸 昌子 議員

問

石炭や石油など化石燃料の使用を減らし、「脱炭素社会」に移行していくことは避けらず推進していくことは避けては行かない。

その実現のために欠かせない、太陽光や風力、水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入には本来、安全性と地域住民との共生が大前提になる。

しかし、これと逆行し、域外の大手事業者による大規模な開発を伴う再生可能エネルギー事業が全国各地に広がり、土砂災害や環境破壊を起している。

Q 行政のデジタル化を行っても住民との直接対話の確保を

A 住民との直接対話体制は基本である

問

総務省は自治体の「デジタル化」を進めると発表した。

津和野町のデジタル化について尋ねる。

行政におけるAIやデジタルの導入は、職員の労働負担軽減や業務の効率化には有効であるが、公務労働を担う職員をこれに置き換えることはできない。

窓口業務で手続きのオンライン化をする場合であっても、住民と職員が直接対話できる体制の確保が必要ではないか。

町長 手続きのオンライン化

模な開発を伴う再生可能エネルギー事業が全国各地に広がり、土砂災害や環境破壊を起している。

津和野町内でも再生可能エネルギー施設の普及は進んでいる。

水力発電、太陽光発電がすでに行われており、木材を使ったバイオマスガス化発電も来年7月から行われる予定になっている。

今後、再生可能エネルギー施設の普及はさらに進むと考

を進める一方で、従来通りの職員と住民が直接対話をする場面は、基本であると実感している。

問

デジタル化による課題は。

町長 コンピューターウイルス等による情報漏えいのリスクが高まる。

情報セキュリティ対策は今後徹底していく必要がある。

高度なセキュリティ対策、システムの導入を行うことは、相応の費用が伴う。

町財政の負担増となる恐れもある。

えられる。

しかし、その導入にあたっては、安全性確保や環境保全など行政の配慮が必要になる。

近隣でも「自然を破壊しかない」と開発が問題になっているものもある。

町内において現在大手事業者による、大規模な再生可能エネルギー施設の計画はあるのか。

町長 現在はないが過去に風力発電などの話はあった。

景観上ふさわしくないなど見解を示し、開発は行われ

Q 木部地区乗り合いタクシー実証実験の進捗状況は

A 登録者が伸び悩んでいる

現在、木部地域で乗り合いタクシーの実証実験が行われている。

高齢者の交通手段として有効に使われるのではないかと期待をしている。

実証実験は、10月から始まっている。

現時点における加入状況と利用者の様子は。

町長 12月1日現在5人の方に登録いただいている。

伸び悩んでいる。

無料体験会や無料期間を行い、まずは体験していただ

ていない。

問

現在の条例では、必要な手続きを満たした事業を拒むことはできない。

行政に工事を止める権限もない。

7月現在全国で156の自治体で設置者に対する責務などを盛り込む条例が作られている。

津和野町にも必要ではないか。

町長 条例制定に向けて関係各課等と協議・検討したい。

き、利用者増加に努めたい。



実証実験で利用される乗り合いタクシー



いたがき たかし
板垣 敬司 議員

Q 0歳児からの人づくり構想の推進は

A 町の魅力化と定住対策の柱に

問 4期目の公約として「0歳児からの人づくり構想」を掲げられた。

つわの暮らし推進課長が「0歳児からの人づくり推進室」を統括しているが、専任を置くことで、より加速化に繋がらないか。

町長 財源を地方創生交付金としているため、「室」をつわの暮らし推進課に置いている。教育部局の担当者も参画している。

この法人に教育魅力化コーディネーターを構成員に加え

Q 行政組織の見直しについて、特に東京事務所は継続か、撤退されるのか

A 当町の基幹産業である観光振興を図る上で継続したい

問 東京オリンピック・パラリンピックの開催

年までを一区切りとして進めて来た津和野町東京事務所の使命は、広範囲で目標が定めにくく、存在価値、費用対効果が住民から疑問視されている。

町長 来年は森鷗外没後100年にあたり、終焉の地である文京区とは一層の交流を深めるべく事業を計画している。

文京区長である成澤廣修文氏の当町に対する深いご理解の下で、良好な関係性が構築されている。

た体制によつて事業の進捗を図っていききたい。

問 津和野高校の魅力化に伴う施設整備として、ペンションの改築が検討されている。

費用の見込みは。

町長 民間から無償譲渡して頂いた宿泊施設を整備して、定員16人の町営寮を設置。改修費は1億4千万円、財源は合併特例債を予定。

運営費は1100万円が見込まれ、450万円程度の県からの支援がある。

Q 行政組織の見直しについて、特に東京事務所は継続か、撤退されるのか

A 当町の基幹産業である観光振興を図る上で継続したい

問 東京事務所は情報発信・受信の前線

基地であると同時に、職員の人材育成のポジションであるべきでは。

町長 継続する期間や人事異動も含めて今後の課題とする。

問 文化庁から認定を受けた文化財保存地

域計画や日本遺産認定、重伝建等の推進を図るうえで、教育委員会文化財係を町長

部局とする考えはないか。
町長 文化財行政は、保存か

ら活用へ重心が置かれるようになっていく。

呼応して全国的にも文化財関連部署を教育委員会から町長部局に移管する事例もある。当町の文化財に資する各種

Q 交通システム実証実験の実用化の用途は

A 住民周知が不足して、十分な結果になっていない

問 高齢化に伴う交通弱者対策として期待されている、実証実験の成果と課題は。

町長 10月から木部地区を対象とした乗り合いタクシーによる実証実験は、住民周知が

Q 100周年記念事業について

A 郷土館の活用、山口線津和野駅開通記念で「鷗外津和野に還る」を企画中

問 SL写真ファンよ

り、9号線（大鳥居附近）の立木伐採による景観整備の要望がある。

町長 境界確認や所有者等の同意が必要となる。現在進めている見晴らし広場の整備とも関連しており、農林課等と連携して対応していく。

問 SL写真仲間によ

る「山口線沿線協議会」が白井トンネル付近の立木伐採事例がある。

登記簿や切図の閲覧など、

審議会等では、社会環境の変化に関わらず一途に取り組んで来られた姿勢を評価する有識者の声もある。各界のご意見を承りながら検討をしていきたい。

十分でなく、12月1日現在、5人の方に登録を頂いている。事前アンケートでは31人の利用希望があったが、「月額運賃が高い」「買い物支援サービスを活用している」等、実用化には課題が多い。

民間レベルで事業に取り組みたい。
町長 行政として協力は惜しまない。





うしろやまゆきつぐ
後山 幸次 議員

Q 郷土館改修工事は

A 保存修理を実施する

問

2016(平成28)年度国庫補助事業として、全体の保存活用計画を策定し、17(平成29)年度国庫補助事業で、修理工事の基本設計耐震診断を実施し、段階的に修理工事の準備を進めると、6年が経過しているが現状は。

教育長 郷土館は、国登録有形文化財に指定されている1942(昭和17)年建築の本館と73(昭和48)年建築の新館で構成されている。老朽化が進んでおり今後耐

震補強や展示施設改修など郷土館全体の整備が必要になる。計画を基に養老館の改修が終了後、郷土館の保存修理を進めていく計画だったが、早急な対応が必要になった城山プロジェクト事業などの文化財関係事業が続いたため、郷土館保存修理に着手できていない状況である。

改めて今年度策定した「津和野町文化財保存活用地域計画」に基づいて、郷土館の保存修理を実施する。

Q 津和野小学校前のバス停整備は

A 検討協議している

問

2016(平成28)年度の質問に対し、本年度の新規事業でバス停を兼ねた公園を整備する計画が提出された。

百景図や歴史的景観の向上を図るとあるが、バス停との関連は。

教育長 質問の場所は、津和野小学校校門前で、県道に面しており、バス待合所を設置するために用地を購入した。

バス待合所を兼ねた津和野城下町公園として埋蔵文化財保護との調整が必要のため、

Q 請願採択後の対応は

A 実現に向けて努力する

問

2011(平成23)年、後田地区の側溝整備工事は、10年間も経過しているが、完成への計画は。

町長 過去に部分的に工事をしている。町内各地域において側溝整備など道路の改良要望が数多く寄せられている状況である。

財政状況を勘案し、特に危険で早急な対策を講じる必要がある箇所から優先的に整備を進める。

問

14(平成26)年6月町道狐尾線道路改良工事も部分改良から、8年も経過している。

完成の見通しは。

町長 延長約900mで道路幅員が狭く、自動車の離合困難場所や視距が確保できない場所がある。地域や観光客の方々の通行に不便をおかけしている。特に見通しの悪い急カーブ付近は、土地所有者の理解を得て用地買収している。他路線の改良工事の進捗や財政状況を勘案し検討する。

問

町道森野坂線の改良工事は、県に対し県

道編入による道路改良の要望をされている。県からは県道昇格の3つの課題を挙げられている。

- ① 沿線用地、土地境界の明確化
- ② 町の道路改良ビジョンの提示
- ③ 沿線住民の改良への理解と協力

この課題を、町では庁舎内担当者検討会、関係自治会長、地権者等検討会も開催しているが、経過と進捗状況は。

町長 町道森野坂線の県道編入は、2014(平成26)年実施の地籍調査事業で現地調査を行い境界確定している。その後、改良ビジョンについては、整備方針の検討、整備へ向けた課題抽出など庁舎内で議論を進め、町内関係者における検討会を開催し、意見を伺い、15(平成27)年には住民アンケート調査を実施した。この改良整備には、沿線世帯の自宅前に駐車している車の代替駐車場への移転という問題がある。

解決に向けて、内部で検討し、関係者の方々と協議し、実現に向け努力する。



かわだ つよし
川田 剛 議員

Q 町長選挙の所見は

A 厳しいご意見に反省する

問

町長選挙を終え、選挙期間中の声や、選挙結果に表された町民の評価をどのように受け止めておられるか。

そしてそれらを踏まえ、公約に掲げられたことをどのように実現していくか。

町長

多かつたご意見として特に印象に残っているのが、津和野地域と日原地域を対比してのまちづくりの不公平感を有しておられ、それに対

Q 子宮頸がんワクチン接種補助拡大を

A 町独自の制度の構築を図る

問

子宮頸がんワクチンは小学6年生から高校1年生の女性が無料で受けられる定期接種である。

しかし、接種後の体の痛みなどの報告が相次いだため、国は2013（平成25）年6月、定期接種の位置付けのまま、個別に接種を呼びかける積極的勧奨を差し控えるよう自治体に求めている。

世界保健機構（WHO）は、ワクチンをHPV（ヒトパピローマウイルス）感染に対する重要な予防手段として推奨しており、国も「ワクチンの安全性と有効性の知見を整理

するご批判であった。

これまで諸事業についてバランスを考えながら進めてきたつもりであったが、結果として多くの厳しいご意見をいただき、反省しているところである。

今後は、これまで以上に意見交換を行うなど、丁寧な説明を心掛けたい。

長期の在任期間に入ること厳しく自覚し、負託に応えてまいりたい。

し国民に理解を得るための広報を進めてきた」とし、22（令和4）年4月から積極的勧奨を再開することである。

しかし、「積極的勧奨を差し控えていた時期の無料接種対象者である、現在16歳から21歳までの女性のうち、およそ260万人が無料接種の機会を逃した」との報告がある。このワクチンの自己負担は5万円以上で高価である。

自己負担で接種をされた方に対し、支援が必要だ。

町長 国からの通知に基づき対象者の方には積極的な勧奨を実施したい。

なお、接種機会を逃した方への対応については、現在国で行われている議論の結果を見

Q 学校での生理用品の配布方法は

A 学校で再度検討している

問

全国各地で、コロナ禍における生理の貧困への支援が実施されている。

中でも学校の女性用トイレに生理用品を常時配置されている学校があり、担当者に聞いてみると、「コロナ禍での生理の貧困対策として配置したものだが、利用者がどのような状況で使用しているかは調査していない。今後はトイレでトイレットペーパーを使用することと同じ考えで配置していく。

来年度からも継続して配置していく」とのことであった。当町でも、学校施設への生理用品の配布や配置場所については、学校の状況や養護教諭のご意見を伺いながら十分に検討されたい。

教育長

配布方法や設置方法について養護部会で更に検討し、各学校の実情に応じて対応したい。

問

『生理は女性特有のもの』ではなく、

た上で、町独自の制度の構築を図っていききたい。

男女ともに性に対する知識や理解がなければ、あらゆる問題を引き起こす原因になると、保護者の方から指摘を受けた。

性教育のさらなる充実もお願いしたい。

教育長 重要であると認識しており、充実に努めたい。





議員 泰仁 丁

Q コロナワクチン3回目接種は

A 2022 (令和4) 年2月上旬実施予定

問

現在世界会議（G20、COP26）などで協議されている3点の課題（①世界経済情勢②コロナ感染防止のためのワクチン接種について③地球温暖化のための気候変動に関して）に準じて、当町の今後の施策課題は。

① 番目のコロナ禍による観光関連業種の景気回復に対する諸施策と忘新年会得得プレミア券発行キャンペーンは。

町長 コロナ禍により観光関連団体事業者の景気は、未だ以前の状況まで回復していないとの認識であり、業績悪化緩和運転資金などの、補助事業を展開し、事業者の支援に当たってきた。

今後も雇用維持を支援する雇用維持支援給付金を新に展開し支援を強化したい。

問 これらの補助事業は来年以降も継続が望ましいが。

町長 コロナ感染の情勢を注視しつつ判断したい。

問

忘新年会得得プレミア券発行キャンペーンの期間と内容は。

町長 期間は12月1日から翌年1月16日まで（券の利用期間は1月31日まで）である。

内容は対象店舗での忘新年会において4人以上での会食や仕出し、おせち等を利用した方の額が1人3千円以上であった場合、利用金額に応じて1人最大3千円のドライブショッピング券をプレゼントする。

問

② 番目のコロナ感染拡大防止のための3回目ワクチン接種の開始予定はいつごろか。

その際使用するワクチンの種類のメーカーは。

町長 3回目接種開始予定は2022（令和4）年2月上旬ごろで、現在、津和野共存病院や和崎医院と協議をしている。

接種ワクチンの種類は、ファイザー製とモデルナ製の2種類である。

問

いわゆる交差接種になると思われるが、安全性の問題はクリアーできているか。

町長 厚生省からは、別段安全性についての注意事項は今のところない。

今後3回目ワクチン接種に関しては、年末までに町民の方へ知らせるつもりである。

問

③ 番目の地球温暖化のための気候変動に関しての質問であるが、今年の冬はラニーニャ現象のため、大雪になる予報が出されている。

除雪計画は万全か。特に昨年度の大雪経験から、森三差路からキヌヤまで、大橋から高岡通りの幹線道路の除雪計画は。

問

「三津同盟」の概要は。

教育長 概要としては、優れた蘭学者、洋学者を輩出したという共通の歴史的背景を持つ、津和野町、岡山県津山市、大分県津市が相互に連携協力し、学術交流や観光振興を進めることを目的として同盟を締結する。

問

具体的な同盟による事業内容は。

教育長 3点ある。
① 博物館、資料館の交流と共同研究の促進
② 知的観光の振興と他分野交流の促進
③ 連携協力による広報活動の展開である。

Q 三津同盟の活動拠点は

A 郷土館などを想定

問

活動拠点はどこになるか。

教育長 郷土館、鵜外記念館、養老館などを想定している。

問

将来この同盟により、両市から知的レベルの高い方々の往来が想定される。

「教育、歴史、文化」を標榜した観光立町として現在の津和野地区図書館はあまりにも粗末であり、外交的視点からも早急に新設、増改修等を要望する。

教育長 現状の施設は手狭であり、増改築や新設も含め、主要な課題の一つとらえており、財政状況等も踏まえ、以前から具体的な検討へのタイミングを図っていると認識している。

面を怠りなく。

町長 町道駅前線と森野坂線については、通常の場合除雪ダンプ等での対応を検討している。

限られた体制の中、必要最低限の交通の確保を基本に計画している中で、住民の皆様のご理解と協力をお願いしたい。



みうら えいじ
三浦 英治 議員

Q 津和野栗再生プロジェクトは

A 生産量を増やす施策を目指す

問 2015(平成27)年に、つわの栗再生プロジェクト推進協議会が発足した。

現在の状況と進捗状態は。

町長 プロジェクトの目標は、津和野町栗の品質を高めるとともに、生産から流通までのすべての工程を一貫して津和野で行い、新商品の開発等も含めた津和野栗のブランド化と生産量の増加、それにならう農業と商業等の連携による地域の活性化を目標にした。

しかし、生産量自体が少ないことで、市場では他産地の栗とまざり、「島根県産栗」として販売されている。

需要に対する供給が追いついていない。

問 対応策は。

Q 今年度、町内の空き家を調査しているが、結果は

A 町全体の空き家総件数は619件

内訳は。

町長 家の状態が良く、比較的、入居が可能と思われるランクの高い物件数は303件。家の状態が悪く、今後は危険家屋となり得るランクの低

町長 助成要件の見直しと生産量を増やす施策。

問 現在の植栽状況は。

町長 植栽面積は、町全体で約884アール。

新たな植栽面積は、昨年度約32アールで、今年度は、約50アールを予定。

問 休耕田、耕作放棄地への植栽は。

町長 対策として、栗の植栽事業を引き続き推進する。

休耕田は、肥料や農薬の散布が山地と比較して容易であることから、新たに植栽することから、新たに植栽する人に休耕田の利用を推進。

耕作放棄農地とは、農地の定義で、1号遊休農地と再生利用が困難な農地として捉えた場合、再生作業として草刈や基盤整備等が必要になるから、植栽は困難。

い物件数は236件。

問 今後の展開は。

町長 ランクの高い物件を対象に、自治会長等を通じて所有者と連絡を取り、空き家改修事業を活用いただき、空き

家バンクへの登録を推進する。

今年度からの「民間賃貸住宅建設改修支援事業」により空き家の利活用を促進する。

危険家屋の対応は、自治会からの通報により、逐次現場

Q 環境整備は

A きれいで住みよい環境づくりに努める

問 「ごみの分け方・出し方の手引書」を2017(平成29)年に改訂版が配布。今後の発行配布予定は。

町長 手引書の改定は、発行から5～6年を目安に考えている。

発行後、内容に大きな変更点等があった場合は、広報、嘱託文書、ホームページ等で随時周知している。

「プラスチックに係る資源環境の促進等に関する法律」が、22(令和4)年4月1日施行される。

「容器包装プラスチック」以外のプラスチック製品についてリサイクルを行うていく予定。

現在、「不燃ごみ」は広域処理なので、吉賀町と分別品目の見直し等の協議を行う予定で、22(令和4)年中には、「ごみの分け方・出し方の手引書」を改訂し配布を検討。

確認を行っている。

撤去に関しては、今年度新設した補助事業で対応し、3件の申請があった。

危険家屋対策への迅速な対応を行っている。

問 手引書の分別内容を詳細に記述する必要があるが。

町長 改定時に修正を行う。自治体によって、分別方法の違いで、津和野町を離れている持ち主が、大変戸惑っている。

問 整理のために帰郷した町外の人も搬入できるのか。

町長 町外の廃棄物を当町関連の集積施設へ搬入はできないが、津和野町に現存する自己の廃棄物であれば、町外の方でも搬入は可能。

問 資源ごみ回収のキログラムあたりの単価は。

町長 現在、町内21カ所の集積場所の回収を業者に委託。毎年度、入札で決定されるため処理単価は変動する。20(令和2)年度実績は、キログラムあたり約31円。

Q 観光発展の起爆剤に フランキー砲一斉射撃

A 文化財指定を目指すうえで好ましくない



よねざわ ひろふみ
米澤 宏文 議員

問

『津和野百景図』に「四十七、縣社津和野神社」と掲載されている津和野神社所有のフランキー砲5門を整備し観光津和野の起爆剤として活用を。

同社所有5門の内2門は郷土館、3門は神社倉庫で保管されている。

フランキー砲は16世紀に日本に最初に伝わった原始的な大砲である。

世界で12門、日本に8門中5門が津和野町に現存する凄い事実。一説には国宝級といわれている。

東京の靖国神社付属博物館「遊就館」の2階に1門展示のフランキー砲が国宝でもないのに「撮影禁止」となっている。



フランキー砲（仏狼機）、石火矢・国崩しとも呼ばれる。
(左) 郷土館展示2門（亀井氏所有）。(右) 津和野神社倉庫3門（坂崎氏所有）

貴重な大砲として扱われており、全長290cm・口径9・5cmと、津和野神社のものより大きい。

世界的に貴重な津和野神社のフランキー砲に台座、車輪など整備し5門を盗難防止のため一堂に保管しては。

教育長 後世に残すよう適切な保管が必要である。

問

観光資源として、まちおこしとして、そして観光力アップ策として、国内はもとより世界でも実施できないフランキー砲5門の一斉実射（空砲）を町内イベントの開始合図で活用してはどうか。



台車のフランキー砲。原型復元が望まれる

教育長 文化財指定を目指すうえで好ましくない。

問

国宝認定申請を。

教育長 申請では指定されない。調査を進め価値を明らかにする。

Q 遊園地・防災公園建設

A 双方の建設を検討

問

町の子ども議会でも何回も提案されている。

町内の親子や観光客の子どもの遊び場がない。

子どもには楽しい遊び場、

子を持つ親同士の公園デビューの場所となる。

子育てをしやすい環境の面、観光客誘致の面から子どもものの遊び場が必要。

防府市の防災公園メバル公園では、多くの親子が活き活きと楽しんでいる。



なごみの里遊具でほとんど誰も遊ばない。防府市メバル公園では親子が生き生きと

Q イノシシは、ミミズの養殖で捕獲増を

A 現時点で考えはない

問

イノシシによる人的被害や農作物の被害増大が報道されている。

被害軽減にイノシシの好物ナンバーワンであるミミズの養殖を町営または民間に委嘱で実施し、猟師に有料で分け、捕獲の増を図るべき。

農家の生産意欲の増進、人的被害防止となり、試験的実施の価値がある。

他市町村に先駆け試験的に実施してみるべき。

町長 現時点では考えは無し。

防災用としては防災シェルター・かまど等を設置している。

津和野町でも仮設住宅用広場・ソーラー機能付きLED照明燈等が必要ではないか。町長施政方針の人口増対策や子育て環境の整備、子ども連れ観光客の誘致、防災面の安心確保のため急ぎ建設するべき。

町長 公園事業は多額の費用を要す。財源を調査し整備を検討する。

最新の研究・調査の情報収集に努め必要なら検討する。



箱罫。エサはヌカ。めったに入らない。



くさだ きちまる
草田 吉丸 議員

Q 時代に即した公民館の在り方について検討されたい

A 庁議等で議論したい

問

下森町政4期目のスタートに当たり、町長の目指すまちづくり構想は。

町長 諸課題の発生要因となっている人口減少を食い止める定住対策は最も重要視しているところである。

ゼロ歳児からの人づくり事業を進めながらリターンやターナーを増やして行く定住施策を推進していく。

過去10年間、津和野高校の魅力化に取り組んできて、現在重要な成果を見るに至っている。

これまでの着実な取り組みを経験として、信念をもってこの4年間取り組む決意である。

問

今後の行政を運営していくためには、

何よりも行政の組織機構がしっかりと機能することが重要と考える。

職場環境改善の考えは。

町長 事務の効率化、事業のスクラップ&ビルド、事務分掌の再精査を行いながら、職員一人一人の能力が発揮できる環境づくりと機能的な組織機構を創っていききたい。

併せて行政執行部の意思決

定機関である庁議の在り方は重要であり、活発な意見が寄せられる中で意思決定がなされるよう、その環境づくりに留意したい。

問

少子高齢化が進行する中で、集落の維持にどう対応されるか。

町長 まちづくり委員会活動の地域提案型事業や組織作り



農村風景

交付金を活用した地域の自発的な取り組みを支援している。

若者定住住宅の建設や子育て支援、住環境の整備、仕事の確保等で地域に若者が住めるよう定住対策を進めていきたい。

問

公民館は社会教育と併せ、まちづくりに積極的にかかわる必要がある

ることを、以前教育長は発言された。

合併から16年が経過した今、地域も実態が大きく変わっている。

若者が少ない地域で、これからの地域を担う要となるのは公民館と考える。

まちづくり委員会の事務局を公民館で対応するなど、時代に即した公民館の在り方について検討する場を作ってほしい。

Q 美しい森林づくり条例は活用できているか

A しっかりと取り組んでいる

問

2015（平成27）年9月25日開催された、津和野町合併10周年記念式典において町長は、「美しい森林（もり）づくり条例」を制定することを発表された。

行政や町民が一体となって森林保全に取り組むための、重要な条例と思うが、この条例が十分生かされているか。

町長 町としてはやる気を持って取り組んでいる。

自伐林家の育成のため地域おこし協力隊の方への支援や、バイオマスガス化発電も大きな事業費を投じて取り組んで

教育長 合併から16年が経過した今、公民館の役割を再検討する時期に来たのではないかと考えている。

庁議等でも議論出来たらよいと思う。

町長 まちづくり委員会と公民館の関係についてはそれぞれの地域の考えを尊重していきたい。

今後は公民館との連携の在り方について考えていきたい。

いる。

作業道の開設にも町独自の補助制度を作り対応している。

ここまですべての自治体は多くはないと自負している。

問

バイオマスガス化発電所の周辺整備をして明い環境でスタートすべきと思うが。

町長 多くの方が視察に訪れることも予想されるので、森林所有者の方のご理解ご協力をお願いいただき、周辺整備に努めたい。





おかだ かつや
岡田 克也 議員

Q 介護職員不足により町内の介護事業所は危機的状況にあり、早急に対策を講じるべき

A 介護に関する入門的研修を開催し、介護人材を育成したい

問 町内の介護事業所の介護職員不足は、危機的状況であり、介護の仕事に興味を持っていただく講座や介護福祉士を志してもらうための奨学金の創設等を考えるべきでは。

町長 基本的な知識を研修する数時間程度の介護に関する入門的研修を町の職員を中

心として実施することができ

民間の介護事業所への就職を目指す人に、町が直接奨学金を貸与することは難しいが、各事業所が人材確保のために工夫を凝らした独自の取組みに奨励金を交付することは検討の余地がある。

Q 津和野共存病院の医療を維持するための医師体制は

A 若手医師4人体制を維持して行くことが必要

問 現在の医師体制は7人であるが、今後、津和野町の医療を維持して行くための医師体制は。

町長 外来・入院・土日休日、日直は若手4人の医師で対応している状況である。

無理がかからないように益田日赤や島根大学医学部附属病院からの非常勤医師の応援体制で診療を維持できているが、2021（令和3）年3月末で若手医師2人の退職が決まっている。

津和野共存病院は、地域医療拠点病院の指定を受け、町内無医地区への対応等、益田圏域になくってはならない医療機関である。

医師4人体制の堅持が必要であり、橋井堂として、今後、若手医師の派遣要請を要望したと聞いた。

問 4人体制の維持のためには、ぜひとも2人の派遣を強く要請されたい。

町長 津和野町の医療を守るために尽力したい。

Q 日原診療所の医師体制と診療機能充実で、日原地域の医療の充実を

A 医師体制の充実で、平均患者数増となっており、機能充実で移動負担減となる

問 日原地区の医療構

町長 須山所長・飯島医師・木谷医師等の方々の診療体制

確立により、平均患者数が増加している。

レントゲン撮影装置の設置

Q 医療体制維持のための看護師等の処遇改善は

A 橋井堂として収入増・支出減を徹底し、町としても支援を図りたい

問 看護師等の医療従事者確保のためには、処遇改善が必要であると思われる。

橋井堂の取り組みは。

町長 益田日赤との医療連携等により収入が増加している。

益田日赤を参考に、医療

で、簡易な画像検査が可能となり、利用者の移動負担軽減となる。

資材等の購入一括管理SPDシステムの導入や入院時に必要な衣類やタオル等のセット貸出で、職員の負担軽減と経費削減を図る。

町としても医療従事者に魅力的な病院・施設となるように、財政担当課と協議を重ね、支援を図りたい。

Q 交流人口の増加による消費不足・担い手不足の解消を

A 交流人口と呼ばれる地域外の人材を地域づくりの担い手として確保して行く必要がある

問 津和野高校の80人の新入生の内、36人が県外からのしませ留学である。

況は。
町長 当町は人口減少に加え、担い手となる生産年齢人口も減少している。

多拠点生活をサポートするアドレスサテライトオフィスは、島根県立大学のサテライトオフィスも併設している。

津和野高校のグローバルラボ部と共に地域住民と共に地域の研究や課題解決に取り組んでいる。

津和野高校生と島根県立大学生との交流は地域外の担い手確保のみならず、交流する地域の方も刺激を受け、新たな担い手となる事が期待される。

その他の質問
食の町としてアピールすべき

一般財団法人「つわの学び未来」の活動サポート等、現



み たらい つよし
御手洗 剛 議員

Q 「国土強靱化 地域計画」に 沿った事業展開は

A 県と連携し、河川改修事業、砂防事業、
治山事業、ため池整備事業に取り組む

問

8月豪雨災害の状況と復旧の状況は。

町長

災害復旧事業を計画しているものは、公共土木施設が道路7カ所、河川7カ所の計14件、林道が8件、農地・農業用施設が10件で内訳は、わさび田2カ所、用排水路5カ所、頭首工が3カ所である。

これらの被災箇所には、10月上旬より12月10日までのところで国の災害査定が終了し、準備が出来次第工事発注を予定している。

また、現在通行止めになっている町道や農業用施設等については、地域の方々に大きな影響を及ぼすことから、優先して準備を進めている。

林道二俣線については、被災規模が大きく十分な現地調査が必要であることから、復旧工法の検討など、現在国と事前協議を行っている状況にある。

また、住宅裏が崩壊した箇所が5件あり、うち4件は町の林地等崩壊対策事業により対処することとし、1件については法面の十分な対策工事が必要のため、林地崩壊防止事業として、まもなく発注予定である。

問

これまでに実施した国土強靱化の取組

町長

「国土強靱化地域計画」は、2020（令和2）年12月20日に策定したもので、「起きてはならない最悪の事態」として「被災地での食料・飲料水等、生命にかかわる物資供給の長期停止」の設定を踏まえ、町道の道路改良や落石対策、橋梁やトンネルにおける長寿命対策に取り組んでいる。

そして、「住宅・建物・交通施設等の倒壊や火災による死者の発生」の設定においては、中座団地等の公営住宅の整備、ソフト面として、木造住宅の耐震改修補助事業やブロック塀耐震化補助金制度などの住民への周知・利用促進に取り組んでいる。

問

住民からは、河床掘削の要望が多い。

災害予防のため、年間を通じ施設の巡回・点検の強化を。

町長 高津川本流と津和野川には、県へ要望し実施していただく。

その他の支流等については土砂の堆積状況等を確認のうえ優先順位を決定し工事を実施している。

施設している。

施設の巡回・点検は、シルバー人材センターへ道路パトロールを含め年間委託し、各

Q 米の需給安定への取組みは

A 22年産米生産の目安が県より示される時期に、
水田農業協力員説明会で明示

問

21年産は、平年作であつたにも拘らず新型コロナウイルス感染拡大による外食需要の減少で、古米の在庫量が異例の高水準となり、米価は下落し、担い手を中心に収入減の影響を受けた。

22年産米の需給均衡には、作付け転換を迫られると推測される。

早い段階で地域協議会での論議が必要では。

町長 1月下旬から2月上旬に水田農業協力員説明会で示させていただきます。

問

21年産主食用米の生産面積、転作の内容と作付面積は。

町長 主食用米の作付は354・1ha、転作について国からは、飼料用米、WCS用稲、麦、大豆飼料作物等を推進しているが、当町においては、それに加えて高収益が見込める、山菜、わさび、里芋、キャ

地域の河川愛護団に、法面の除草や清掃を委託しており、異常があつた場合には随時連絡をいただいている。

町としての見解は。町長 この収穫機械は、高価であることから、新たに追加装備をする場合を含め、国や県の活用できる補助事業等を検討したい。

問

WCS稲を計画生産するには、収穫機械等の装備が必須要件である。

町としての見解は。

町長 この収穫機械は、高価であることから、新たに追加装備をする場合を含め、国や県の活用できる補助事業等を検討したい。



Q 道の駅のそばに外資系ホテルの 建設計画があると聞くが

A まだ決まっていない



みちのぶ としあき
道信 俊昭 議員

問

「コロナが終息したら外資系ホテルを誘致する」と、下森町長は今回の町長選挙でのマニフェストで述べ、大々的に新聞で発表し、さらに当選後の所信表明で強調した。

相当の意気込みとみる。

外資系ホテルとは、現在世界一のホテル経営をしているアメリカの「マリオット」か。

町長 交渉相手の意向もあり、現段階で決定していることではないので、具体的なホテル名は言えない。

問

予定している場所は、なごみ温泉前のヘリポート横か。

町長 そうである。

問

この計画は、積水ハウスが建物を建て、マリオットが経営をする「トリックベイス」というものだが、津和野町の役割は何か。

町長 ホテル建設地を貸与することが想定。

問

防災ヘリの離発着時の方向や勾配に支障をきたさないか。

町長 このヘリポートは緊急輸送に使用するもので、設置の基準が緩和されており、周辺の建物の高さ制限は最高15

mとなっている。

問

海外におけるコロナは再び活発になっていくが、契約と完成はいつを想定しているのか。

町長 明確な時期を言うことは出来ない。

問

今の観光客の流れを観察すると子ども連れが多い。

その施策はないか。

町長 子ども連れの家族層にとつて、町内の文化財を含むコンテンツは少々難しいこともあり十分に楽しめないという声を聞く。

そこで子ども好きな商品販売する店舗や休憩場所等を盛り込んでいきたい。

問

「津和野町総合振興計画」の観光部門では「近隣を回遊する」ことをコンセプトにしているが、「ホテルプロジェクト」では「世界、全国を渡り歩く」ことを目的にしている。

あまりにも違うが、何をきっかけにこの計画を浮上させたのか。

町長 昨年ヨーロッパのベルリンとバチカン市国を訪れたことがきっかけである。

問

町長は「外国人観光客を増やす」とのことだが、コロナ以前でも、毎年、一日2・8人ぐらいしか宿泊していない。なぜインバウンドにこだわるのか。

何人に増やす計画なのか。

町長 これからの観光は、インバウンドが切り札となる。

特に、津和野カトリック教会の列福が認められたら、外国人観光客が飛躍的に伸びると思う。

問

先ほど町長は「決まっていない」と答えたが、町の執行部内でまとまっているのか。

それとも国への「地方創生事業費申請」をしていないのか、内諾が取れていないのか。または、プロジェクトとの内部交渉がうまくいっていないのか、正式契約前なのか。

町長 町の執行部内では了解が取れているが、その後はまだである。

また、同じ業種の津和野旅館組合は承諾してくれた。

問

この計画は、議会の全員協議会に一度も出されていない。

まずは山手にある廃業した

ホテルや町中の旅館の再構築が先決ではないか。

城山から眺めたホテル建設予定の場所は牧歌的な場所である。ホテルはこれを台無しにすることを想像したか。

建設される建物の所有権は誰が持つのか。

町長 ある程度用途がたつた段階で説明する。



所管事務調査報告

●総務経済常任委員会

調査事件 商工・観光の現状について

調査意見

●コロナウィルス対策

コロナウィルス対策は商工・観光業者にとって事業継続の支援につながっている。

商工会会員の新規加入の増加は、各種対策の効果の表れとも思える。

今後、町内経済3団体の協議を重ね、支援事業の継続と実情に合った支援策等検討されたい。

●日本遺産再審査について

津和野町日本遺産活用推進協議会において作成された地域活性化計画を提出し、再審査結果待ちの状況である。

地域活性化計画に掲げている重点課題を積極的に取り組まれない。

結果発表で再認定されることを期待する。

●外資系ホテル誘致について

現在外資系ホテルの誘致に向け働きかけている。

今後のインバウンドの増加や列福認定を想定した受け入れ

体制の整備として前向きに検討されたい。

旅館組合や関係する事業者との協議を進め、地元業者との連携でホテル運営がなされるよう十分な配慮をされたい。

●今後の商工観光に期待するもの

津和野駅前整備、城山整備、ホテル誘致、見晴広場等の観光関連施設が整備されていく中で、これらの施設が十分活用されるようソフト面も含めて、コロナ収束後を見据えた商工観光業の復興について行政としても積極的に支援されたい。

●文教民生常任委員会

調査事件 上下水道事業の現状と課題について

調査意見

●水道会計

未普及地区の解消に努力されたい。

空き家における漏水対策を講じられたい。

独立採算が原則であるが、住民生活の影響には特に配慮されたい。

●下水道会計

各処理区の延長管路は、39・2km、当面の管路更新は

必要ないが、最終処分場、マンホールポンプ等定期的な点検により維持管理を徹底されたい。

2024（令和6）年度より公営企業会計に移行することになる。

職員体制の強化によって、スムーズな事業進捗を図られたい。

請 願

●災害時等における避難場所として役場本庁舎3階の使用を求める請願

9月議会において総務経済常任委員会付託継続審査になつていたもの

委員会審査意見

想定できないような気象状況の中で災害に対する備えは重要である。

枕瀬地域の指定避難所は滝元・枕瀬公民館と日原小学校であるが、土石流警戒区域やそれに隣接する場所である。

一方、防災拠点でもある役場本庁舎の位置はハザードマップ上でも安全な場所といえる。

基本設計を早急に進められ、一日も早く、枕瀬地区及び日原地区の指定避難所として開設されることを強く要望する。

特別委員会の設置

議員定数等議会活性化特別委員会設置に関する決議

提出者 議会運営委員会

少子高齢化、人口減少が喫緊の課題である津和野町における議会・議員活動の在り方、活発な議会（運営）・議員活動をする上での必要な議員数等について、議論・検討していく必要があると考え特別委員会の設置を決議する。

設置された特別委員会

議員定数等

議会活性化特別委員会
委員長 岡田 克也

副委員長 草田 吉丸

委員構成 議長を除く11名
調査期間 3月定例会まで

【議会広聴会中止のお知らせ】

令和3年度開催予定で、延期しておりました「令和3年度津和野町議会広聴会」は諸般の事情により中止いたします。



提出者	議案・賛否表 ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席 棄＝棄権(※)	草	米	川	道	板	丁	御	三	寺	後	岡	結
		田	澤	田	信	垣		手	浦	戸	山	田	果
町長	令和3年第9回(9月)津和野町議会 定例会												
	令和3年度見晴らし広場解体工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町	令和3年第10回(11月)津和野町議会 定例会												
	津和野町選挙管理委員会委員の選挙	森元 眞氏										指名推薦	
	//	大庭 洋子氏										指名推薦	
	//	倉益 晃氏										指名推薦	
	//	廣石 洋子氏										指名推薦	
	津和野町選挙管理委員会委員補充員の選挙	石川 哲志氏										指名推薦	
	//	大庭 次雄氏										指名推薦	
	//	藤井 昭見氏										指名推薦	
	津和野町副町長の選任	島田 賢司氏										無記名投票	同意
	津和野町監査委員の選任	大庭 郁夫氏										無記名投票	同意
長	津和野町教育委員会委員の任命	村上 守氏										無記名投票	同意
	//	庵野 敏人氏										無記名投票	同意
	令和2年度原木・チップヤード建設工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
町	令和3年第11回(12月)津和野町議会 定例会												
	令和3年度見晴らし広場解体工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町総合振興計画等審議会条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 地域審議会設置条例の廃止	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 医療技術者等修学資金貸与条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	棄	○	可決
	日原特定公園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	指定管理者の指定の変更(訪問看護ステーション)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// (津和野町医療従事者住宅)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// (日原診療所)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和3年度 津和野町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
	// 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
	// 介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
	// 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
// 下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決	
// 病院事業事業会計(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決	
// 水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決	
長	令和2年度原木・チップヤード建設工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第2次津和野町総合振興計画(基本構想)の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町過疎地域持続的発展計画の策定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	// 過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
委員会	議員定数当議会活性化特別委員会設置に関する決議												
請願	災害時等における避難場所として役場本庁舎3階の使用を求める請願												

(※)申し合わせにより、押しボタン式の表決において、故意または過失によりボタンを押さなかった場合「棄権」となります。

【訂正】上記申し合わせにより、『つわの議会だより No.64』(令和3年9月定例会号)P16「賛否表」中、下記について訂正いたします。

板垣議員	令和3年度 津和野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	●	棄
御手洗議員	令和2年度 津和野町介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算の認定	●	棄

編集後記

昨年はコロナ禍により、令和2年度の津和野町成人式が延期となりました。

依然として、コロナ禍ではあるものの、感染者数が落ち着いて本年、令和3年度と令和2年度の津和野町成人式を無事開催することができました。今年の成人式はどうなるのか、令和2年度の式はどうなるのか、と、ご本人そしてご家族の皆様は大変ご心配であったこととご推察いたします。

今回、本紙の表紙において令和2年度の、町発行の『広報つわの』の表紙において令和3年度の成人式の写真を掲載することにいたしました。

晴れて成人を迎えられた令和2年度、令和3年度の新成人の皆様には、お喜び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

川田 剛

広報広聴常任委員会

◎川田 剛 ○寺戸 昌子

草田 吉丸 道信 俊昭

丁 泰仁 三浦 英治